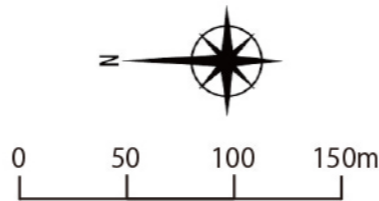


# 長浜市高月町馬上 水害履歴マップ その②

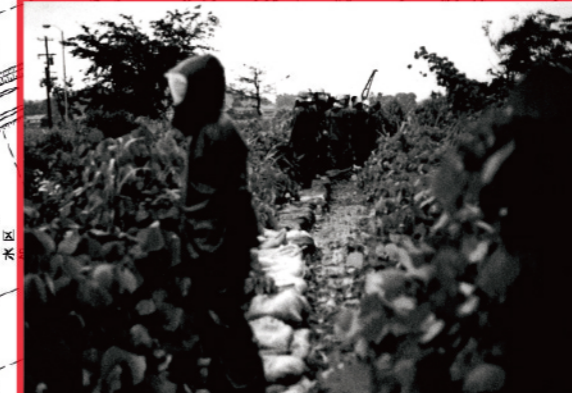
一水害（明治29年，昭和34年，昭和40年，平成2年，平成10年）一  
（平成27年 11月19日長浜市高月町馬上集会所にて行った聞き取り調査に基づき作成）



凡例

明治29年	平成2年
昭和34年	平成10年
昭和40年	

水の流れ  
 浸水



馬上地区所蔵提供写真：  
山田川右岸で土嚢を積んでいる様子（昭和40年か？）

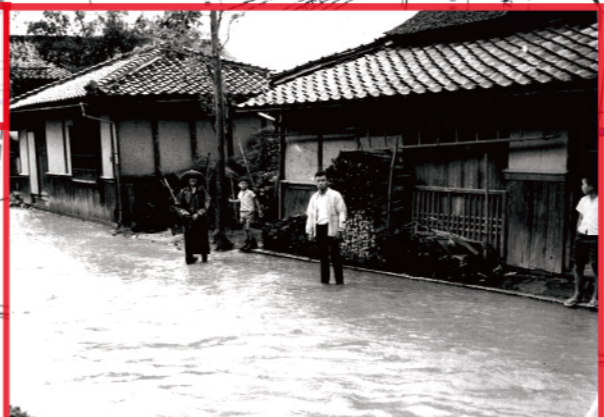
昭和40年：  
山田川右岸では馬上地区の消防団（自警団）を中心に地区の男性総出で土嚢積みを行っていた。左岸では行政（湖北町）が土嚢積みを行っていた。

昭和40年：  
餅ノ井と山田川の交差部分で排水が追い付かず餅ノ井の水が溢れ、馬上地区の住居が床下浸水した。

昭和34年：  
山田川が増水し、同じく増水していた高時川との合流部分で高時川に流入できず、合流部にある高時川の霞堤の開口部から、周辺の田畑に水が流れ込んだ。

昭和40年：  
高時川と山田川の合流部にある霞堤の開口部から川の水が溢れ、田んぼに流れ込んできた。その様子を白海（しらうみ）と呼ぶ。

平成10年：  
高時川と山田川の合流部にある、霞堤の開口部付近の田んぼが浸水した。



馬上地区所蔵提供写真：  
馬上集落付近の浸水の様子（昭和40年か？）

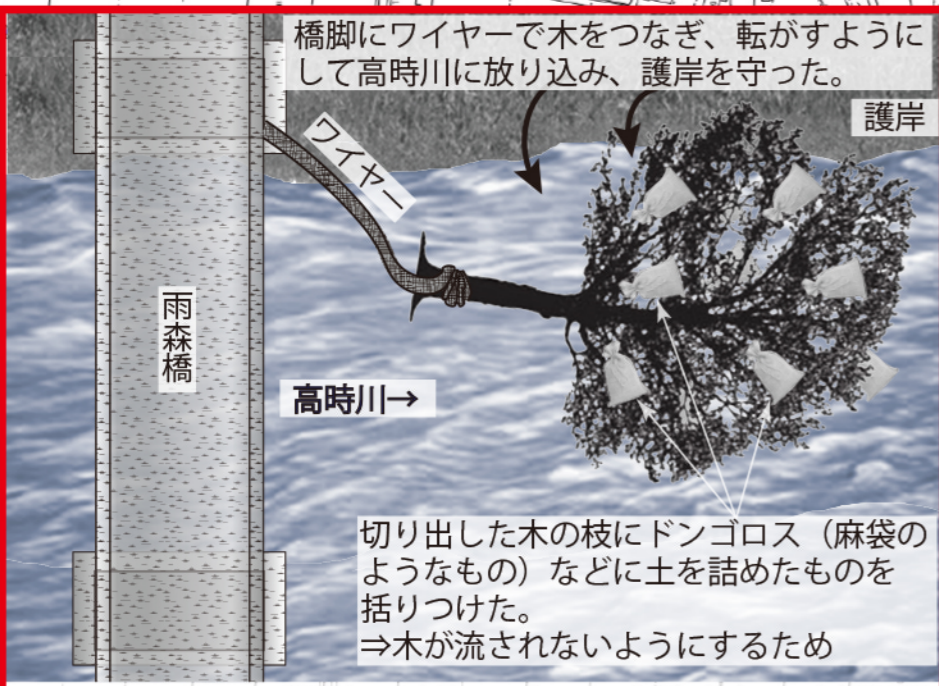
明治29年：  
大雨による土砂崩れで走落神社が倒壊した。

走落神社

平成2年：  
被害は無かったが、消防団が徹夜で警戒にあたった。

昭和40年  
馬上地区の東の山などに降った雨水などが餅ノ井に流れ込み増水し溢れた。

昭和40年：  
土間が浸水し、置いてあった草履や下駄が水に浮いて流され、無くなっていた。



想像図：昭和40年 雨森橋付近での水防活動

昭和40年：  
高時川上流の雨森橋付近では、雨森橋の橋台を迂回した水の流れてによって護岸が削られていた。⇒護岸を守るため、上図のような水防活動を行った。

平成10年：  
阿弥陀橋の川下付近で、堤防天端から1mほど下のところまで水位が上がった。

平成10年：  
河川敷の畑が浸水した。（2～3年に一度の頻度で浸水する。）